今後は

中央区のアダプト・プログラムは今年度で6年目となります。市民と行政の協働であるこの活動をさらに充実するため両者のパートナーシップが一層重要になってきます。

また、今年の6月25日に行われた**「環境首都・札幌」宣言**の一翼を担うためにも、今後、区役所として制度のPR活動を行うとともに、各団体の活動の積極的な支援に努めていきます。

未来に向って①

札幌市おもてなしクリーン・アップ中央区一斉清掃活動～

北海道洞爺湖サミットを控えた7月1日に、中央区一斉清掃活動が行われ、締結団体のうち11団体が一斉清掃に参加し、おもてなしの心を込めたクリーンアップ活動でまちの美化を図りました。

この日は、ごみ清掃とともに、各団体がそれぞれ独自の活動も行いました。外国からのお客さまが増える時期を前に、快適な滞在をしていただけるよう美観の保たれた環境となりました。

▶中心部商店街による美化活動

未来に向って②

事業範囲の拡大・通年事業～

これまでのアダプト・プログラムでは、どうしても冬季を除く活動が中心になっていました。平成19年度に覚書を締結した「スミセキ・コンテック株式会社」と「スミセキ・ジオテクノ株式会社」については、春から秋までの清掃活動に加え、冬季に歩道への砂まきなどを行うことで、一年を通じた活動をすることになりました。

また、今年度新たに覚書の調印を行った2団体**(右記「アダプト調印式」参照)**も、この通年事業を活動に取り入れる予定です。

▶凍結した歩道での砂まき活動

未来に向って③

新規団体の参入～

この活動をより多くの地域に広げていくためには、新たな団体とのアダプト締結を進めるだけではなく、まずは、「自分たちの地域は自分たちの手で」という考え方を市民と行政で共有し行動していくことが必要になってきます。

区内のそれぞれの地域特性に応じたまちの美化活動が広がっていくことが重要です。

◆◆◆◆◆◆◆◆

ぜひ、あなたのお住まいの地域でも、このまちづくり活動について話し合ってみてはいかがでしょうか。

◆アダプト調印式(新たな団体の参加)◆

6月19日に「中央地区町内会連合会」と「株式会社山田組」の2団体との覚書調印式が行われました。

そこで、それぞれの団体代表者にアダプト・プログラムに対する思いを伺いました。

◀覚書調印式(写真左が滝本会長)

中央地区町内会連合会の滝本(たきもと)　繁(しげる)会長は「これまで、町内会の役員会でどのような活動をするのがいいのか検討してきました。その中で、これまで北1条通オフィス町内会セーフティー&クリーン大作戦に参加するなどの美化活動を行ってきましたが、それを地区全体に広げたい。それには、この制度の活用が一番です」と参加に懸ける思いを力強く話していました。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

「わたしどもの社屋は大通公園の端に位置しており、既に活動されている団体のすばらしい取り組みを見ると、社員からも『わたしたちも何かできないかしら』との声がありました。同じ地区にいるものとして大変心苦しい思いがあり、今回からこの活動に参加させていただくことになり、ようやく活動の一端を担えることを大変うれしく思います。この活動の効果が広がっていくのを期待しています」と話していました。

▲株式会社山田組
取締役社長
山田(やまだ)　實(みのる)さん

問い合わせ先
中央区地域振興課
まちづくり調整担当
☎231-2400(内線219･471)
http://www.city.sapporo.jp/chuo/machi/machizukuri/index.html